

## 就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	とぐち しょうたろう	性別	生年月日・年齢		
氏名	戸口翔太郎	男	1999年6月28日		
競技名／種別(種目)	射撃／クレー射撃	26	歳		
出身地	埼玉県				
現住所	埼玉県比企郡				
所属先	株式会社NKB (スポンサー契約)				
練習場所	神奈川県立伊勢原射撃場				

### 【選手プロフィール】

#### ■学歴・職歴

年	月	学歴・職歴
2018	3	城西大学附属川越高等学校 卒業
2018	4	日本薬科大学 薬学部薬学科 入学
2020	4	日本薬科大学 薬学部医療ビジネス薬科学科 転科
2024	3	日本薬科大学 薬学部医療ビジネス薬科学科 卒業



#### ■免許・資格

普通自動車第一種免許

第一種狩猟免許

#### ■国際大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2023	1	ISSF WORLD CUP (ラバト/モロッコ)	8位 * 日本新記録
2023	9	第19回アジア競技大会(杭州/中国)	17位
2025	6	Asian Shotgun Cup2025(臨汾/中国)	5位
2025	10	WORLD CHAMPIONSHIPS (アテネ/ギリシャ)	15位 * 日本記録タイ

#### ■国内大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2021	10	2021年度全日本選手権大会	7位
2022	8	2022年度JOCジュニアオリンピックカップ	優勝
2024	8	2024年度JOCジュニアオリンピックカップ	優勝
2024	10	2024年度全日本選手権大会	2位

#### ■自己PR

クレー射撃は、わずか数秒の動作に全神経を研ぎ澄まし「必ずクレーを撃ち碎く」という高い集中力、再現性の高さが求められる競技です。私はこの競技を通じて、感情や運に左右されない集中力、再現性を確立しました。競技を始めて約3年半後の2023年のワールドカップにて19年ぶりとなる日本新記録を樹立する事ができ、この成果は、感覚だけに頼らず、世界で戦うために、国内の常識にとらわれない独自の戦略が必要でした。そのため国内外トップ選手データ分析をし、日本と海外ではどのような差があるのかを独自で調べ、その結果を自身の射撃動作に埋め込ませ、数値化に基づき「どうすれば最高のパフォーマンスが再現できるのか」という目標達成までのプロセスを細分化し、日々の小さな積み重ねをし、緻密な計画性と継続力、再現性にこだわった科学的なアプローチから生まれました。そして世界選手権大会やオリンピック最終予選といった大舞台では一枚のミスが順位を大きく左右します。私はこの極度の緊張感の中で、瞬時に気持ちを切り替え、次のクレーに集中するメンタルコントロール能力を徹底的に磨いてきました。この経験をもとに緊急なトラブルなど予期せぬ状況においても持ち前のポジティブ思考で、倫理的な判断を下す危機管理能力として貢献し、営業目標やプロジェクト達成に向け、冷静かつ緻密な戦略を立て、高精度で実行し続ける力として活かせます。私は、競技生活、社会人を両立させるデュアルキャリアこそ今後のアスリート社員の発展、クレー射撃界発展が私の使命だと思っております。この挑戦を一時的なものとして終わらせるつもりはありません。目指すは、2026アジア競技大会、2028ロサンゼルスオリンピック、2032ブリスベンオリンピックにてメダル獲得です。私が持ちうる全ての能力を駆使しながら、新たなスキルを習得し、自身の成長、会社の成長に貢献しますので何卒よろしくお願ひいたします。

#### 【採用検討企業への情報】

①職種・仕事内容	企業PR、広報活動、営業職に興味がありますが、どのような仕事でも全力で取り組ませていただきます。
②勤務地	関東
③勤務日数・時間帯	週1~2日の半日勤務を希望します。試合や合宿の際はご配慮いただけたら幸いです。